

教育目標

心豊かにたくましく生きる子の育成

めざす子ども像

- 主体的に学び、意欲的に発信する子
- 礼儀正しく、思いやりのある子
- 健康に気をつけ、体を鍛える子
- 我が町に愛着を感じる子

児童の実態

- ・素直で思いやりがある。
- ・縦のつながりがあり、高学年が低学年の面倒をよく見る。
- ・何事にもまじめに取り組む。
- ・自ら考え行動する力や人前で意見を伝える力がやや弱い。

保護者・地域の願い

- ・安全・安心な学校生活
- ・より良い人間関係の構築
- ・児童理解と適切な支援
- ・知育、徳育、体育、食育面からの育成
- ・子どもに関わる情報の発信

重点目標

確かな学力

- 1 主体的・対話的で深い学びのある授業づくり
- 2 言語能力の育成
- 3 発信力の育成

豊かな心

- 1 互いに認め支え合う学級づくり
- 2 自己肯定感、自己有用感の育成
- 3 教育相談、支援教育の充実

健やかな体

- 1 基礎体力の向上
- 2 基本的な生活習慣の確立
- 3 健康教育・食育の充実

信頼される学校

- 1 安全・安心な学校づくり
- 2 開かれた学校づくり
- 3 地域・郷土愛の醸成
- 4 家庭・地域への情報発信

具体的な取組

- (1) 児童に「学びのゴール」や「学びの見通し」をもたせ、導入や発問を工夫することで、主体的に学べるようにする。
- (2) 学習言語を習得させ、発達段階に応じた話し方・聞き方を身につける。
- (3) 伝える場の工夫、ICT活用等により、自分の意見を意欲的に発信できるようにする。

- (1) 市ポジティブ教育や道徳科の学習等を通して、互いの立場を尊重する態度を身につける。
- (2) 学級・学年・異学年交流で自治的に行う活動を仕組む。
- (3) アンケートや相談活動、情報モラル教育を通して、いじめ・不登校・要支援児童を把握し、未然防止等適切な対応をする。

- (1) 体育の授業等を通して運動の質と量を確保し、意欲的に最後まで粘り強く取り組ませる。
- (2) 家庭と連携し、基本的な生活習慣及び食習慣の定着をめざす。
- (3) 予防を重視した保健指導、給食時間等を活用した食育指導を行う。

- (1) 見守り隊やPTAと連携し、児童の安全・安心を図る。
- (2) 保小中および近隣小学校との連携を図るとともに、地域と連携した学習活動を行い、地域の願いを知り、ふるさとを大切に思う心を育む。
- (3) 学年だより等HPの更新で積極的に情報を発信する。

検証の手法

- ① 自分の考えを表現する活動に意欲的に取り組んだ児童80%以上
- ② 発達段階に応じた話し方・聞き方を指導した教員100%以上
- ③ ICTの活用法を学び、授業に活かした教員90%以上

- ① 自分や相手を大切にする言動ができたと答える児童90%以上
- ② 学級・学年・異学年交流で一緒に活動するのは楽しいと答える児童90%以上
- ③ 子どもは、楽しく学校に通っていると答える保護者90%以上

- ① 体育の授業などでめあてに向かってがんばった児童90%以上
- ② 「中河小スマートルール」を守るよう働きかけた保護者80%以上
- ③ 昨年度と比較し、う歯治療率等の数値の向上

- ① 地域について学習することで、ふるさとを大切にしたいと思うことができた児童80%以上
- ② 学年だより等HPの更新で学校の様子を知ることができたと答える保護者90%以上

業務改善のための取り組み

- 1 19:30以降校内に留まることは許可制とし、管理職の判断を仰ぐ。
- 2 月曜日・水曜日を「ノー残業デー」とし、全員が18:00までに退庁する。